

第五十二回全国老人クラブ大会 宣言

いま、わが国では、少子・高齢化、人口減少が進み、社会経済、家族、地域といった基本的条件とその環境が大きく変化しています。

さらに三年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の広がりには社会全体に大きな影響を及ぼし、とりわけ高齢者の健康、生活、活動への制限や、社会的な孤立、孤独などといった事態を顕在化させました。

そうした情勢を背景にして、高齢者のニーズに向き合い、見守り、支え合うことで、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、安心、安全のまちづくりをはかることが、今後ますます必要となつてまいります。

また、本年は、「老人福祉法制定六十周年」にあたります。

「人生二〇〇年時代」という超高齢社会においては、「健康維持」「生活安定」「社会参加」という法の理念に基づき、時代の変化や地域特性に応じて、あらためて高齢者福祉の再構築をはかることが、喫緊の課題となっております。

そのため、私たち老人クラブには、今後とも会員の意欲と行動、住民の励ましと協力、行政の理解と支援のもとに、健康、友愛、地域貢献など多彩なクラブ活動を通じて、仲間のもとより、地域コミュニティとともに高齢者が生きがいのある生活ができるような「共生社会」の実現のために、一翼を担っていくことが期待されています。

青く澄みわたる日本海と雄大な山々に囲まれた豊かな自然、多彩な祭り・伝統文化を誇るここ「美の国秋田」の地に集う全国の老人クラブ関係者は、「のびそう！健康寿命。担おう！地域づくりを」のメインテーマのもとに、全国老人クラブ連合会六十周年記念大会で掲げた次の重要事項の実践を、今後とも展開していくことを誓い、あらためてここに宣言いたします。

- 一、健康長寿をめざす「健康活動」の推進
- 一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一、高齢者の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和五年十一月八日

第五十二回全国老人クラブ大会